

野辺地町統合小学校新築事業検討委員会 第19回

基本設計のまとめ ～検討経緯および結果ふりかえり～

■【1】建物配置と外構について

- ・ 初期配置プランは、児童館の周辺環境並びに将来を見据えた柔軟な活用方法をイメージし、児童館を西側に配置する計画であった。工事工程の関係で校舎と児童館の供用開始時期のずれ込みを避けたいことと、校舎間の移動や連携の管理運営の点から児童館位置を校舎北側に変更。児童館位置は校舎と離し採光確保を考慮する。
- ・ 児童館が校舎北側に移動したことにより、敷地北西側をプレイフィールドにする。樹木、芝、遊具等を整備し自然の中で活動できる場を提供。南西は南側プレイフィールドの広さを調整しながら、南側駐車場は広く取ることで駐車台数を確保する。南側プレイフィールドは臨時の駐車場や冬季期間の堆雪場所を想定しクレイ補装とする。
- ・ スクールバス寄り付きの位置をメインアプローチに沿った位置に計画し、校舎からの視認性を高める。雨よけになるバス待ちエリアを設置。
- ・ 敷地南側から通学する児童に考慮し、児童が駐車場出入口を渡らなくても済むように、南側駐車場南側からメインアプローチまでの歩道を設置。
- ・ 融雪舗装をメインアプローチ階段、屋外スロープに敷設。
- ・ グラウンドの形状、広さについて、200mトラックがおさまり、100mトラックが校舎と並行になるようにグラウンド北側に配置。花壇・農園を、景観や雑草などの管理を考慮しグラウンド南側に配置。グラウンド南側に砂場を配置。
- ・ グラウンド倉庫位置は、スキー用具、グラウンド用具、除雪機械や道具を収納してグラウンド東側に配置。
- ・ ネットフェンスは南側駐車場と南側プレイフィールドを除いた学校境界線を囲うように設置。地域への開放性と安全性のバランスを考慮した耐積雪用で、高さは1.8mとする。防球ネットは高さ6mとし、グラウンド南側、東側に設置。愛宕公園側のネットフェンスはもう少し高くするかは今後再検討。ネットフェンス門扉を設置し、必要により行き来できるようにする。校舎とグラウンドの間にフェンスは設置しない。
- ・ 記念樹や既存樹木を残せるものは残し有効活用する。

■【2】校舎平面図について

①昇降口について

- ・校舎南側に生徒用昇降口、校舎北側に職員昇降口、体育館近く北側に体育館昇降口を設置。**生徒用昇降口は除雪道具を置くスペースも見込む**。生徒職員昇降口全体を風除室にして、廊下との間は戸で仕切り、校舎内冷暖房効率を上げる。

②廊下・多目的スペース（わっかストリート）、多目的スペース（陽だまりラウンジ）、1階図書エリア（DENスペース）、2階図書室について

- ・普通教室前の多目的スペース（わっかストリート）は、グループ学習や集会に対応する多用途のオープンスペースで、可動式コート掛けの仕切り方でゾーン分けができる。
- ・陽だまりラウンジの大階段は発表や集会の場として利用できる。階段周辺には図書エリアを設け、本との出会いや他学年との交流の場とする。
- ・階段下には DEN スペースを置き、くつろげる空間を用意。
- ・2階図書室を設置し、静かに読書したい児童のエリア、司書のエリアを用意。
- ・図書エリアは、**1階2階全体的に森をコンセプトとした書架棚、ベンチ、家具を計画する**。

③普通教室、特別支援教室について

- ・採光をとるため、1階、2階校舎南側、2階校舎西側に配置。**普通教室と特別支援教室を離して配置ではなく交互に配置し、距離を近づけることで児童の心理的な距離も近づけ、心のバリアフリーにつながる**。普通教室の広さは35人利用の広さを確保。
- ・教室の廊下間仕切りは、多目的スペースとの連携を考慮し、**広く開けられる間仕切扉とする**。掲示物を多く貼れるよう考慮。コート類収納棚は高さを要検討。**窓下の棚は、落下防止の安全面から基本的には設置しない**。教壇は設置しない。
- ・1階南側、2階南側特別支援教室内中央に移動間仕切壁を設置し、2部屋に分けられるものとする。

④職員室、校長室、会議室について

- ・職員室の利用人数が決まり、初期プランより面積を広く取る必要があることから、会議室位置を校長室隣から北側昇降口隣に移動して、職員室と校長室を広くする。会議室は保護者面談や来賓に対応しやすい配置とする。
- ・**職員室、校長室廊下側は多目的スペースと溶け込むような、緩やかな波打つ曲面の平面とし、柔らかさや優しさなどを感じられる空間にする**。直線的な廊下だと児童が走りやすく騒がしくなることも考えられ、職員室前を静穏にする効果も期待できる。多目的スペース側に談話スペースを置き交流の場とする。

⑤保健室、通級教室について

- ・ 1階校舎西側にそれぞれを配置。保健室内にトイレ、シャワールームを設置し、**緊急車両動線を考慮した配置を計画**。資料や児童の着替えなどのための収納スペースを多くとる。ベッドは2台とする。
- ・ **通級教室エリアは床面をカーペットにし、プレイルーム形状を安全面や管理面から平面は四角形とする。**

⑥生活室、家庭科室、音楽室、理科室、図工室、児童会室について

- ・ **生活室**は低学年利用がメインとなることと、陽だまりラウンジとの一体使いや、第二のプレイルームとしても多様な使い方が展開できるよう、**1階の多目的スペースとDENスペース近くに配置**。2室利用を想定し、室内中央に移動間仕切壁を設置する。
- ・ 家庭科室、音楽室は配置の検討が色々なされたが、最終的には町要望も含め、**1階に家庭科室、2階に音楽室の配置**とする。家庭科室が火元となり火災となった際の避難の優位性を考慮した結果。音楽室の大型楽器運搬等はエレベーターと大階段で安全に運搬していただく。2階の音楽室は教室環境を今後追求する上でも、天井高さや形状等を変更しやすい点でよりよい環境とできる可能性がある。音楽室の床は段々の形状ではなくフラットな床とする。
- ・ 理科室、図工室、児童会室については、校舎2階北側に配置。

⑦体育館について

- ・ 体育館は校舎と併設とし、**現野辺地小のコート寸法を参考**にして、南北に縦長の形状で配置。器具庫に体育用具、階段下倉庫に災害備蓄品等を収納。体育館南側にピロティを設け、グラウンド利用との連携ができる。
- ・ スキー置き場の検討では、庇下配置や、校舎内倉庫を広く取るなど検討したが、グラウンド東側屋外倉庫にまとめることにした。
- ・ **休日利用の際のセキュリティラインを、体育館内で完結するように体育館階段位置を配置。**
- ・ 体育館2階ギャラリーと倉庫を配置。

⑧トイレについて

- | | | | |
|---------|-----------------|-------------|-----------|
| ・ 1階トイレ | ・ 校舎東側低学年児童用トイレ | ドアレス | ウォシュレットなし |
| | ・ 校舎北側職員トイレ | ドアあり | ウォシュレットあり |
| | ・ 通級教室エリアトイレ | ドアあり | ウォシュレットなし |
| | ・ 体育館トイレ | ドアあり | ウォシュレットあり |
| | ・ バリアフリースペーストイレ | ドアあり | ウォシュレットあり |

- ・ 2階トイレ ・校舎北側高学年用トイレ **ドアレス** 女子トイレウォシュレットあり
- ・ 校舎東側高学年用トイレ **ドアレス** 女子トイレウォシュレットあり
- ・ バリアフリートイレ **ドアあり** **ウォシュレットあり**
- ・ 共通には**大便器は洋式で計画**し、すべての大便器に**便座ヒーターを設置**。**消音装置はバリアフリートイレを除いたすべてのトイレに設置**。
- ・ 男子トイレには小便器を設置する。
- ・ バリアフリートイレを初期計画では1階に3か所、2階に1か所の計画であったが、収納スペースの確保、**水飲み場の増設等を優先**し、1階通級教室エリアのバリアフリートイレを倉庫、水飲み場へと変更。
- ・ 体育館トイレについて、**休日利用や災害時利用を考慮し、便器数、広さを増やし、体育館更衣室との配置を変更**。

⑨空調計画について

- ・ 普通教室、特別支援教室、職員室等の居室は天井面に設置する電気式エアコン空調を計画。同様に2階廊下、2階多目的スペースの空調も天井面に電気式エアコンを計画。
- ・ 1階ラウンジホール、1階廊下、1階多目的スペース、プレイルーム、体育館などの広い大空間は床輻射式冷暖房を計画。
- ・ 各階トイレは電気パネルヒーターを計画。

⑩給湯計画について

- ・ 各階流しの給湯器は貯湯式電気温水器を設置。
- ・ 保健室、家庭科室は給湯温度が高く、給湯量も多いと想定されるため、機能とコスト面から瞬間式ガス給湯器を設置。
- ・ **家庭科室の調理台はIHヒーターを計画**。

⑪災害時の考え方について

- ・ 災害時、体育館が主要な避難所となる。災害対策用の非常用発電機を設置し、停電時3日以上の連続運転を想定。
- ・ 災害時に対応する室として、体育館（トイレ含む）、職員室、保健室（空調、シャワー室含む）、プレイルーム、会議室を計画。照明の一部とコンセントの一部を使用可とする。プレイルーム、会議室については障がい者、乳幼児等の対応を想定。
- ・ 水源は水道直結式を計画。学校周りの水道管が災害に強いもののため、基本的に断水は想定しない。